

しゅ あゆ じんせい  
主とともに歩む人生

にのみや ひでき  
二宮 秀樹

ぶんしょ がつ にち あゆたび にのみや わ あ  
この文書は、5月22日に、オンラインの「ともに歩む旅」のときに、二宮さんの分かち合いの  
ものです。

こんど がつ にち きしわ だきようかい せんれい う いの  
今度の8月15日に岸和田教会で洗礼を受けることになっています。お祈りいたしましょう。

さま し まえ じんじゃ てら い かんしゃ い こじんてき  
イエス様を知る前に、神社やお寺に行くことがあっても、わたしは感謝するというより、個人的  
な祈願、祈禱だったと思います。私の祈りは、まだまだご都合主義的な、ご利益主義的な祈りで  
あったと思うのです。

きょう せいしょ もと いっしんきょう うちゅうばんぶつ つく ぜんちぜんとう かみ そんざい  
キリスト教は聖書に基づいて一神教であって、宇宙万物を創られた全知全能の神の存在を  
おし 教えています。また、愛のゆえに神は御子イエス・キリストを 私たちに遣わされたことや、永遠の  
いのち わたし まね おし  
命に私たちを招いてくださることを教えています。

きょう べんきょう おし なか あんしんかん え  
キリスト教を勉強しながら、その教えの中に安心感を得ることができたのです。というのは、  
とうじ わたし にんげん き い じんせい さいだい ぎもん ひと  
その当時、私は人間がどこから来てどこへ行くのか、さらに、人生の最大の疑問、すなわち人は  
死ぬとどうなるのか、という疑問に悩んでいました。はっきりした道標を指し示す愛の道があるの  
だど理解し、もう迷わず、怖がらずに生きることができるのだと分かりました。イエス様が私たちの  
そばにおられるという幸せを知ったとき、洗礼の恵みを受ける決意をいたしました。

ぜんちぜんとう かみ にんげん つみ おか のち にんげん み す よげんしゃ おく さいご  
全知全能の神は、人間が罪を犯した後に、人間を見捨てることなく預言者たちを送り、最後に  
よげんしゃ やくそく とお ひとり すく ぬし つか かん わたし  
預言者たちが約束された通り、一人の救い主イエス・キリストをお遣わしになりました。神は、私  
ちをいつまでも見放さず、永遠の命まで用意し、イエス様の十字架の死と復活によって救いへの  
道を示してくださいました。それは、愛の道です。

じぶん す じぶん げんかい よわ けんきょ みと しゅ しんらい しんじゃ たす  
自分を捨て、自分の限界と弱さを謙虚に認め、主に信頼しながら、信者たちに助けられて、  
かみ りんじん あい みち じぶん じんせい し ご えいえん いのち すべ  
神と隣人への愛の道を歩みたい。自分の人生、死、その後の永遠の命のことについての全てを、  
かみ ゆだ まか  
神に委ね、お任せします。